

平成 27 年 7 月 19 日(日)
NPO ワンネット FAX 通信

(第 20 号)

発 信 者 理事長 大内田 治男
FAX 番号 0942-31-5336

「土曜日だけの 教育パパ？」

平野 英二郎

毎週土曜日に1時間。3歳半の息子と近くの知育塾に行く。3歳児クラスには親が必ず同席しなければならない。同席というより子供と一緒にクラスを受けるのだ。カリキュラムは多岐にわたるが、ねらいは「右脳を鍛えること」と「子供にたっぷり愛情を注ぐこと」だという。

「右脳を鍛える」カリキュラムに、十枚のカードの絵柄を順番に覚えていくというのがある。自分の頭の中であり得もしない場面を想像し、それを写真を撮るように脳裏に焼き付ける。まず1の絵と2の絵を組み合わせた場面を写真にとり、次に2の絵と3の絵を合わせて、また写真を撮るといった手順で、どんどん自由に話を作っていくのである。

仮に 1.虎 2.車 3.相撲 4.メロンパン 5.携帯電話 6.女王 7.カエル 8.拳銃 9.電車 10.時計というカードがあると、順番通りに覚えられますか？

やり方としては、例えばこうです。まずは、タイガーマスクが真っ赤なオープンカーを運転している絵を強く頭に描く。そして千秋楽結びの一番で白鵬は、タイガーを寄り切って優勝。白鵬は優勝賞品にメロンパン 10年分を受け取り、パンの中に入ってた携帯で、エリザベス女王に喜びを伝えた。時を同じくして拳銃から銃弾が女王に向かって発射された。女王の王冠の中にいた指名手配中のカエルは、血まみれのまま息も絶え絶え最終電車に乗った。ホームの時計の時刻はちょうど 12 時を指していた。などと頭の中で鮮やかに思い描くのだ。自分が考えたものであれば、それは自分にとって一番思い出しやすいのだそうだ。

もう一つの「愛情を注ぐ」については、子供を褒めて抱きしめるという時間がある。大きな声でありがとうが言えたとか、今日は自分で靴がはけたとか、他愛もない事でも、みんなが拍手して褒めてくれる。その後「あなたが生まれて、みんなこんなに喜んだんだよ！パパもママも、じいじもあばも、みんな君が大好きだよ！」と抱きしめるのだ。

自分は必要な人間なんだ！と思えるには 8 秒間痛い位に強く抱きしめると良いそうだ。そうすることで愛されてることを実感できるという。自分は誰かに愛されるべき価値ある人間なんだ。そう思えることで、このストレス社会を生きてゆけるのではないか。

我が子には、競争社会を生き抜く「知恵」と「折れない心」を持って欲しいと思う。幼稚園児でも、嫌なことがあったり、友人間でストレスがあるらしい。子供が「抱っこして！」という時は、今やってることを後回しにしてでも、ギュッと抱きしめようと思う。「甘えたい時には、甘やかしてもらえろ」と思うと、子供は安心できるのだそうだ。

●7月の無料相談会

7月の無料相談会は7月8日(水)10時30分～15時、市民活動サポートセンター「みんくる」で開催。村上公証人と13人のワンネット会員が訪れた市民の相談を受けました。

この日参加した会員は、日野、古賀隆、平木、鹿子生、橋口、宮川、大内田、永田、松枝、平野、古賀信、宮地、栗林(敬称略)でした。

相談に訪れた人は27人で、相談件数は合計29件。相談の内容は遺言・相続19件、成年後見1件、離婚3件、年金1件、その他5件(相続税3、大家とのトラブル1件、仕事相談1件)。このように来談者、件数とも、これまでの新記録ではないかという盛況で、これに対して相談員が少なかったこともあって、みなさんてんてこ舞いの忙しい1日となりました。本当にお疲れさまでした。次回は8月12日(水)です。会員のみなさんの積極的なご参加を期待しています。

なお、26年度後期分が終了したことで、事業の後援を受けている久留米市、社会福祉協議会に事業報告をします。内容は、事業概要と決算、そして相談の内容別集計表(下表)です。

それによると、半年間の相談者は102人で1回あたり17人。相談件数は119件で1回あたり19.8件にもなりました。この盛況ぶりは、ワンネットが地域の人たちの中に、年を追うごとに信頼を得、しっかりと根付いている表れと言っても過言でないと思います。次は、1年間を通した集約を報告する予定です。

平成26年度後期分「暮らしの無料相談会」相談内容別集計表

実施日	曜日	相談員数	相談者	相談件数	遺言・相続	離婚	成年後見	年金	その他	その他の内容
平成27年2月10日	火	14	12	14	6	2	2	0	4	相続税について2件 家賃滞納 食プロ資格の活かし方
3月11日	水	16	8	10	6	1	1	0	2	相続税について 相続した土地の売却について
4月8日	水	16	23	27	12	5	2	0	8	死後事務について 相続した不動産処分 金銭貸借・トラブル3件 子供の借金について 相続税について 養育費支払いについて
5月13日	水	16	9	12	7	1	0	0	4	相続税について3件 農地法関連
6月10日	水	18	23	27	16	4	0	0	7	相続税について2件 債務不履行3件 雇用について 外国人関連
7月8日	水	14	27	29	19	3	1	1	5	相続税について3件 仕事探しについて 大家とのトラブル
合計		94	102	119	66	16	6	1	30	
1回平均		15.7	17.0	19.8						

* 相談員数には、公証人を含まず。

●「介護保険セミナー」実施報告

ワンネット主催「老後いきいきセミナー・介護保険制度」は 7 月 11 日(土)、えーるピアで開催。直前からの大雨で合計 34 人の参加でしたが、終始熱心なセミナーとなりました。

介護保険制度がスタートして 15 年になりますが、今回の制度の抜本改正の背景にあるのは、介護が必要な高齢者の急速な増加とそれに伴う費用増。この難局に対応するにはサービスの重点化・効率化、負担の公平性を柱にした制度改革が必至で、本年度から新プログラムがスタートしたわけです。もとより、市民の理解と力をどう引き出すか。その皮切りとなるセミナーです。

講話は、先ず久留米市介護保険課主査、林田 有加氏が「介護保険の制度改革」について、次に久留米東地域包括支援センターの社会福祉士、池上 周氏が「介護支援活動」について熱心にお話していただきました。

受講者のアンケート結果を集約しました。

- アンケート回収・・・受講者 34 人のうち 22 人で、回収率 64.7%
- 性別・・・男性 8 人、女性 13 人、無回答 1
- 年代・・・70 代 13 人、60 代 3 人、80 歳以上 3 人、50 代以下 3 人(60 歳以上が 8 割以上)
- 本日のセミナーの感想・・・よかった 15、普通 1、分かりにくかった 2
- セミナーを何で知ったか・・・広報くるめ 13、知人 5、新聞 2、チラシ 1
- 今、不安に思うこと・・・老後の生活 13、健康問題 11、介護問題 10、年金 6、相続問題 4、子供や家庭のこと 4
- セミナーへの意見・感想(抜粋)
 - ・財源不足を補うには健康な生活習慣を心掛けることだと思い、実践している。・特養入所は重度な人の順からということを知った。・介護保険制度がもともと込み入っていて難しかった。・よい勉強の機会になった。・認知症予防を勉強したい。・参加してよかった。参考になりました(多数)

●「虐待について」の内部研修

「高齢者虐待対応におけるチームアプローチ～専門職に求められる役割～」というテーマで本年度 2 回目の内部研修が 6 月 23 日(火)15 時～17 時 30 分、市民活動サポートセンター「みんくる」で開催されました。講師は、稲吉 江美先生(社会福祉士、介護支援専門員、認知症ケア専門士、福岡県社会福祉会・高齢者障害者虐待対応事業推進チーム委員長)。

実践経験を踏まえた解りやすい稲吉先生の講話のあと、事例シートを使ってみんなで話し合う参加型のセミナーで、8 人の会員が参加しました。

高齢者虐待防止法は、「自覚は問わない」「意思は問わない」・・・虐待の小さな芽も、深刻な虐待防止のため市町村が責任をもって対応していこうという考え方で、障害者虐待防止法も同様です。また、虐待をした人への支援もはっきりうたったところが特徴。

高齢化に伴って高齢者虐待は増加の傾向にあります。そこで、高齢者の特性を踏まえ、その人らしい生活、尊厳が守られる支援とは何かを考えることが益々求められます。

●在住外国人によるパネルディスカッション

4年ぶりに「在住外国人によるパネルディスカッション」(ワンネット主催)が開催される運びになりました。市内には51の国と地域から2,931人(男性1,143人、女性1,788人、1,953世帯)の外国人が、さまざまな在留資格をもって在住しています。そんなみなさんに、よりよい市民生活を送ってもらうのがねらい。

この催しは14年前の2000年にスタート。そこでは、いろいろなエピソードや足跡を残してきました。例えば、第1回の催しでのこと。オーストラリア出身のお母さんから「住民票の妻の欄に私の名前がありません。小学校の先生から、父子家庭ですかと聞かれ、この子の母親は私ですと答えるのですが、どうしてですか」という切実な意見が出ました。すぐに動いたのが行政相談委員でもある大内田治男現理事長。当時、「住民基本台帳法」は日本国籍がない人には適用されず、外国人は「外国人登録法」で住居や身分を公証する制度になっていました。大内田さんは国に働きかけ続け04年、ようやく国は「希望する人には、外国人の配偶者名を備考欄に記載できる」ことにします。そして09年に入管法が改正。外国人も住民基本台帳に登録されることになりました。久留米がこの改正の源です。

第11回在住外国人による パネルディスカッション 「10年間過ごした日本はどうか？」



日 時：平成27年9月5日(土) 午後2時～5時
場 所：久留米商工会議所 5階 大ホール
参加料無料 申し込み不要

今回のパネルディスカッションは9月5日(土)14時から久留米商工会議所で開催されます。パネリストは、フィリピン、スリランカ、中国、イギリス、ニュージーランド、マラウイ共和国(南アフリカ)を母国とする6人の方々と、10年以上も久留米に住み続ける人に照準を当てました。

「今、一番楽しいことは何?」「生活するうえで気を付けていることは?」と、じっくり腰を落ち着けたところから発せられる感想や、これからの久留米に注文したいことなど、今から楽しみです。

パンフレットをリニューアルしました

お二人の弁護士が入会され、無料相談会の相談分野が広がったこともあって、ワンネットのパンフレットをリニューアルしました。前回の刷新が昨年1月ですから1年半ぶり。薄っぺらな洋白紙に白黒印刷という、相変わらずのつたないものですが、ご利用いただければありがたいです。500部印刷し、「みんくる」のワンネット専用ロッカーにあります。